

広土会新聞

第24号

2020.3.1 発刊

発行所 広島工業大学 広土会
〒731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1
TEL 082-921-3121

2019年に思ったこと



広土会会長
福原 輝幸

まず、環境土木工学科の人事について報告します。昨年9月より中村教授の後任として構造部門に田中聖三准教授が来られました。田中先生は若くてエネルギッシュ、アクティブな方で、学科構成員の平均年齢が一挙に下がりました。専門は防災のための数値シミュレーションです。

現在、広島工業大学は専門力と人間力の育成を教育の柱としています。専門力は言うまでもありませんが、人間力は土木分野において特に必要な技術者の要素です。50周年事業ではこんな声が耳に入ってきました。「新聞で豪雨災害のボランティア活動に頑張っている大学生を知ったが、広島工業大学の名前が出て来なかったのは寂しい」。このような感想は他の機会でも耳にしました。広土会同窓生の多くは地域の土木事業に従事し、地域の安全とインフラを支えています。それゆえ、災害時に広工大生が活躍する姿を見たいという気持ちは人一倍強いと思います。地域を守ることは広土会の使命といって

も過言ではありません。災害が起こると広土会の学生が地域復興のお手伝いに参加する仕組みができれば、学生は土木工学の必要性が実感でき、彼らの専門力と人間力の向上に繋がることは間違いありません。そこに広土会がお手伝いできれば、学生は早い段階から広土会の重要性に気付いてくれるかもしれません。

また、同窓会に出席すると、「広土会の学生のためなら1肌でも2肌でも脱ぐよ」という言葉が聞かれ、広土会の先輩は本当に母校愛が強いと感じます。昔はアルバイトでよく土木工事の現場に出かけたものです。今の学生もアルバイトはよくやります。学業とアルバイトのどちらが本業か、疑いたくなる学生は少なくありません。今は昔と違って簡単に土木のアルバイトができないことから、シャベルやスコップを使った土木作業を体験した学生は非常に少ないと思います。何も経験せずに土木の世界に飛び込むことは学生にと不安なことでしょう。乏しい情報から自分の進路を選択することは、就職のミスマッチに繋がる可能性があります。そこで、キャリア教育が重要になります。キャリア教育は大学サイドだけではできません。国県市町、企業と大学の連携に

よって質の高い教育が期待されます。座学では学ぶことができない社会実践力に対して広土会が支援できれば、新しい広土会の存在意義が生まれます。

その支援の1つが、昨年度の広土会誌の末尾で紹介した広土会キャリア交流会（以下、交流会）です。この目的は卒業生と環境土木工学科の在学生および教室教職員との絆を深める事にあります。参加対象は広土会会員がいる広島県および近隣県内の土木関係組織になります。一昨年度は広島県内企業24社が、昨年度は企業に加えて地方公共団体（県市町）を含めた46組織がそれぞれ参加しました。その内訳は広島県（31組織）、山口県（7組織）、島根県（5組織）、愛媛県（3組織）でした。交流会では1組織5分のプレゼンテーションを行い、その後に各組織のブースで学生と卒業生の交流があります。まだ手探りの状態ですが、この交流会が学生にとって土木の縦（先輩後輩）と横（業種間）の繋がりの重要性を知ってもらえる機会になればよいと思っています。これからも広土会は新たなチャレンジ・活動を行っていきますので、会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

人と地球にあたたかな技術、
ハートテクノロジー。

海の恵み、大地の豊饒、そして都市の発展。
地球の自然と快適な生活の調和こそ、私たちの願いです。
人にあたたかな技術を提供し、夢をかなえる力に育ち、
自然の恵みを残しています。

東洋建設

TEL 03-6281-7400
FAX 03-6281-7401
http://www.toyoko.co.jp

洋ようと 伸びのびと 夢をかたちに



洋伸建設株式会社

代表取締役 金山 健二

本社 〒730-0012 広島市中区上八丁堀4-1 TEL(082)511-4520
ア・バンビュ・グランドタワー7F FAX(082)511-4521
営業所 福山・呉・廿日市・山口・四国・九州
事業所 黒瀬
ホームページ <http://www.yoshin-const.co.jp/>



ヒューマン・コンシャス。
それがわたしたちの原点です。

MASUOKA
Architectural Contractors Inc.



株式会社 増岡組

広島本店 / 〒730-0045 広島市中区鶴見町4番25号 TEL 082-504-5050
呉本店 / 〒737-0051 呉市中央1丁目6番28号 TEL 0823-21-1441
<http://www.masuoka-g.co.jp/>

新任挨拶



新任のご挨拶

環境土木工学科 准教授
田中 聖三

2019年9月に着任いたしました、田中聖三と申します。構造系の科目を担当いたします。よろしくお願いいたします。

私は2006年に中央大学で博士号を取得後、同大学土木工学科で助教を務め、2008年から University of Notre Dame, Civil Engineering and Geological Sciences に Research Assistant Professor として勤務し、主に高潮被害予測シミュレーションシステムのスパコン上での高効率化に関する研究をしていました。2011年より東京大学地震研究所で特任助教として、京コンピュータを用いた地震被害シミュレーターの開発を行っていました。その後、2015年に筑波大学システム情報系構造エネルギー工学科に助教として異動し、2019年9月より本学に採用していただくことになりました。

専門は計算力学で特に防災分野の数値シミュレーション手法の開発を行っています。これまで所属を転々としてきた経緯から、対象分野は多岐に渡っており、津波、高潮などの水害や構造物の被害推定などについて有限要素法を用いたシミュレーションに関する研究を行っています。近年は気候変動のためか自然災害が多発しており、これらのシミュレーションの高精度化、高速化は急務であると言えます。今後はこれらの開発はもとより、数値解析結果の表示方法や発信方法などについても、学生と一緒に研究を進めていきたいと考えています。

本学科では構造力学などの科目を担当することになっています。土木工学の三力学の一つであり、土木工学者、技術者として取得していなければならない基礎科目であることから、しっかりと学生に理解していただけるような講義を行いたいと思っています。単に問題が解けるといったことではなく、本質的に力学を理解していただけるように工夫をしていきたいと思っています。

私はシミュレーション手法を研究してきましたので、実務で必要な技術などを理解していないこともあるかと思います。また、関東での暮らしが長かったため、特に広島地区での問題などについては、新聞などによる情報ぐらいしか得ていない状況です。広土会の皆様には、ぜひ、情報提供や共有なども含め、いろいろとご指導を賜りたくお願い申し上げます。広島のおいしいお酒のお店などの情報もいただければ幸いです。(これが一番かもしれません。) よろしく申し上げます。

支部だより



近況報告

関東支部長 (18期生)
檜垣 誠

広土会会員の皆様、私は関東支部で支部長をやっております第18期(昭和61年3月卒)の檜垣(ヒガキ)です。2018年2月に行われました、第25回広土会関東支部総会において、第4代関東支部長を拝命しました。

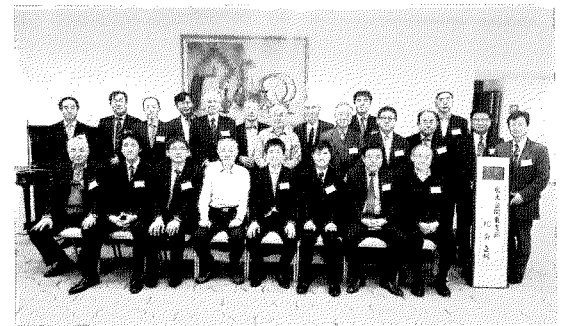
2020年の新年を迎え、TOKYO 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向け盛り上がり始めてきたところです。昨年とは言う、5月1日に第126代天皇陛下が即位され令和の時代が始まりました。また、ノーベル化学賞に吉野氏が選ばれ、スポーツ界では淡野日向子が全英女子オープン初優勝、ラグビーW杯日本大会において日本代表が初の8強入りなど、喜ばしい出来事の方、あおり運転、高齢者ドライバーによる交通事故、沖縄首里城の焼失、台風15、19号による甚大な災害など、悲惨な事件・事故も多かった年の様に感じました。

さて、広土会関東支部ですが、毎年2月または3月に支部総会を開催しており、昨年は3月9日(土)アルカディア市ヶ谷において第26回広土会関東支部総会および懇親会が開催されました。総会には歴代関東支部長(初代梶野良夫様(2期)、二代目支部長西尾修一様(4期)、三代目支部長橋本千代司様(6期))をはじめ、22名の広土会会員様と、十河名誉会員のご参加を頂き盛大に行われました。

関東支部総会の中で、今後、いかに若い会員を増やしていくかが課題として取り上げられました。この課題は、関東支部に限っての話ではないと思います。今まで総会の開催にあたっては、引継がれた住所録で往復はがきによる開催案内の発送と回収で参加者を募ってきましたが、定年退職または転勤による転居、新会員の住所未確認など住所録の更新がうまく出来ていないことが大きな原因の一つと考えています。昨年より、一部の方には、勤務先のE-mailアドレス、携帯電話のE-mailアドレスを確認させて頂き連絡を取った所、関係会社や同級生などの繋がりから、新規の会員様(若い会員も含む)を若干でありますが増やすことも出来ました。時代の流れに沿って、E-mailでの連絡を活用して広く会員相互との連携を図るなど、アナログ方式からデジタル方式に切替える転換期とし、長期に持続可

能な広土会関東支部に向け微力ながら活動しようと考えております。

最後になりましたが、広土会の益々の発展と、会員様におかれましては健康に留意され、益々のご活躍をお祈りしております。



関西支部総会に参加してみませんか!!

関西支部 (10期生)
村上 孔

広土会会員の皆様におかれましては、ますますご隆盛、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

関西におられる広土会会員の皆様、4月の花見や、9月の関西支部総会に出席してみても如何ですか。卒を超えた不思議な出会いが!私の出席の動機は、確か神戸淡路大震災の時、同期生が幹事をしていて、出席の誘いの連絡を頂き「申し訳ないが欠席します。」と返答した記憶があり、当時は復旧工事で寝る間を惜しみ復旧工事をしている状況の中、出席どころではなく、何時か出席をと考えておりました。何年か経ち、偶然にも連絡をいただき、今さらと思いつながらも「出席します」と返答し、思い切って出席をしたところ、広工大の卒業生ということで何か親しみが感じられ、年の差関係なく和気あいと酒を酌み交わし、一人一人の近況とか、先生による大学の近況の話等々あり、あっという間に時間が過ぎたように記憶しております。

私は、広島県沼隈郡(現福山市)で育ち、昭和49年4月に広島工業大学土木工学科に入学し、4年間に在学しました。卒業研究は土質を専攻し、昭和53年3月に卒業して大阪の建設会社に就職し、早42年になろうとしています。その期間にはいろいろな建設工事を経験し、海外大型プロジェクト工事も経験しました。ここ十余年は現場から離れ、業務関係の仕事をしておりますが、今までに経験したことのない土木工事と言えば、橋梁上部工事及びトンネル工事で、やり残した感があります。今、考えてみますと私がこれだけの多工種にわたる土木工事をやり遂げてこ

皆様からの信頼を財産に



八光建設工業株式会社

本社 〒732-0052 広島市東区光町2-4-23
Tel(082)262-8166(代) Fax(082)263-8189
<https://hakkokensetu.co.jp/>

道路建設設計 建設大臣認定擁壁
P.C.ボックスカルバート ザ・ウォール(H=5.0m)



本社 〒733-0822 広島市西区康平1-19-23 (082) 507-2757 (代)
東広島営業所 〒739-2312 広島市豊栄町別府270 (082) 432-4132 (代)
福山支店 〒720-0805 福山市御門町2-5-39 (084) 925-8855 (代)
山口支店 〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1130 (083) 973-3533 (代)
山陰支店 〒695-0003 島根県江津市松川町下河戸188 (0855) 55-0124 (代)
本店 〒699-5133 島根県益田市神田町615 (0856) 25-2380 (代)
工場 広島・江津・益田

KATO
Construction Co., Ltd.



株式会社 加藤組

〒728-0013 広島県三次市十日市東一丁目8-13
TEL(0824)63-5117 FAX(0824)63-5100
<http://www.kato-gr.com>

れた基礎となったのは、広工大で4年間土木工学を学んだおかげだと自負しております。大阪暮らしの方が長くなってしまい、応援するプロ野球チームも広島カープと阪神タイガースの両チームを何時の間にか応援するようになっていました。(阪神対広島の場合は微妙?)

昭和53年に就職した当時景気は、右肩上がり、現在とは違い土日祝の休みもなく、朝早くから夜遅くまで現場、休みは2〜3ヶ月に1日という作業環境だったように記憶しております。昭和61年から平成5年頃のパブル経済を経験した私は本当に天国と地獄を経験したような気がします。就職状況においても、売り手市場と買い手市場の両極端差を目の当たりにしたようでこれがパブル経済かと痛感しました。それから景気は低迷が続いてるその最中に平成5年7月12日に発生した北海道南西沖地震、平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災が続き両震災を経験し、復旧工事にも携わってきました。又、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及びそれに伴う津波のものすごさを映像で見たときは阪神淡路大震災の時と同様にそのすごさに身震いしたのを思い出します。又、現地に赴いて現状を見たときには言葉が出ませんでした。広土会等の総会がある度々に広島に足を運び、同期の面々及び関西支部でお会いした方々と再会する機会があり、話に花が咲き盛り上がりますが、やはり最大の話題と言えば震災での体験、復旧復興の話になり「あの時は大変やったな・・・」重い空気になったこともありました。話は変わり現在の大学の近況の話題になると、在学していた時と比べ学科の名前も変わり、土木工学科と言う名称がなくなっていることに寂しさを覚え、時代の移り変わりを感じた記憶がありました。私も今の立場的に大学の就職課の方へ話を伺いに上がることもあり、現在の建設会社の求人状況及び就職状況等々話を伺う事ができ、勉強させていただきました。又、広工大の就職率は、ほぼ100%と掲示されてるのを拝見すると、広工大のレベルの高さ及び優秀さが伺え、各々の業界先で頑張ってほしいと思う次第です。

私は、ここ数年前から関西支部の総会に毎年参加させて頂いております。関西支部では年に2回集まりの会を設けております。準備等して頂く方々には本当に感謝し、頭が下がります。本当にありがとうございます。近年では15名〜20名程の集まりです。当然ですが、在学時代会う事のなかった先輩の方々及び年の離れた後輩の皆様との宴会が始まり、近況の報告を行うのですが、世代を超えて、各業界の方々、及びすでに引退された方々からの現在の環境、各業会の現状、及び在学時の環境等を知るようになります

が、時間を切られていてもつい話が長くなってしまいます。又、広工大から先生にも出席いただき、大学の近況及び各支部の支部長様からの近況、話題、活動状況の話を聞ける事に於いては最高の話題の提供に感謝いたします。先生および各支部の支部長様には遠路はるばるお越しいただき感謝しております。

関西には多くの広工大卒業生の方々が、各々の業界で活躍されていると思います。年代や、業界の種別及び、すでに業界から引退されている方々に関係なく、気にせずぜひ気軽な気持ちで参加してみてください。「話」を肴に美味しいお酒を飲みませんか。

最後になりますが、広土会及び広土会関西支部の益々の繁栄と、皆様の御健康、御多幸及び御活躍をお祈り申し上げます。



支部長だより

広島支部長 (18期生)

佐藤 稔

橋國支部長の後を引継ぎ、広島支部の支部長を務めさせて頂くことになりました昭和61年卒業第18期生、広島県に勤務しております佐藤と申します。私が60歳になる令和5年の広土会55周年までは頑張らせていただく予定です、どうぞよろしくお願いいたします。

私は(も)大学を卒業してしばらくは広土会との関わりがほとんどありませんでしたが、転職して県庁に入った後、先輩方々からたくさん声や目をかけていただき、そのおかげで今の自分の成長があるのだと思っています。歳を重ねてから同じ広島工業大学で学んだという「繋がり」の大切さをしみじみと感じているところです。若い皆さん、きっといいことがありますので、細くてもいいですから広土会と繋がっていただきたいと思います。

さて、平成30年7月の西日本豪雨では甚大な災害が発生し、その復旧復興に向けて、今も多くの広土会会員の皆様のご苦勞をされておられることと思います。昨年も台風15,19号が関東、東日本を襲うなど災害が激甚化・頻発化しています。災害に対する国土の強靱化が求められるなか、我々土木技術者、5,000人に迫る広土会会員の皆様の役割はますます重要になってくるのではないかと考えています。昨今は「担い手不足」、「生産性向上」、「働き方改革」といった言葉で表されるように、土木技術者を取り巻く環境も大きく変化しています。また「i-con」、「AI」や「5G」の新しい技術で仕事のやり方もどんどん変わっ

ていくのかもしれませんが、いろんな場面で広土会の「繋がり」を有効に活用できることもあるのではないかと思いますので、引き続き広土会をよろしく願いいたします。

広土会新聞の創刊号がなぜか家に残っていました。創刊号は1994年(平成6年)1月に発行され、ひろしま国体を控え整備中の新交通システム「アストラムライン」や広域公園の記事がカラーで、26年前の村中さんのお写真や第1期25周年同窓会報告などの記事が掲載されていました。当時は今より在学生と広土会との関係が密だったことがうかがえる内容もあり、若い力を取り込んで広土会を盛り上げて行きたいと強く感じたところです。

昨年のラグビーワールドカップに続き、今年は東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。ワールドカップでの日本代表選手の活躍は、ラグビーの魅力を掘り起こし“にわかファン”の出現が社会現象となり、日本社会を大いに盛り上げてくれました。オリンピック・パラリンピックでも日本代表選手が活躍し、国民に夢と感動をもたらしてくれることを期待しています。

最後になりますが、広島工業大学及び広土会の益々の発展と広土会会員の皆様のご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



近況報告

県東支部 (51期生)

黒飛 翔

私は、昨年に新年号令和となる直前の平成31年3月に卒業いたしました黒飛と申します。

卒業後は広島県尾道市に本社を置く、株式会社青木組に勤務しています。わが社は、船舶航路の浚渫や港湾の築造など海上土木工事を得意としています。もちろん農林ダムや道路トンネルなど陸上土木工事でも多くの実績を有する総合建設業者であります。

通常、建設業関係の社員同士は工事毎に別々の現場を担当するため、何ヶ月も顔を合わせないことがありますが、わが社では数ヶ月ぶりに会った社員同士が和気あいあいと話したりしているのでとてもいい雰囲気の社風を持った会社だと受け止めています。

入社後は、就業規則や安全教育など全般の本社研修を受けながら小規模工事に携わらせていただきました。約2ヶ月前から今の現場へ正式に配属を受けました。この現場では、災害復旧工事で砂防ダムを築造しています。とにかく今は現場のことや書類のこと全てが分からないことばかり

明るく伸びる



株式会社 伏光組

代表取締役 伏見光暁

本社 〒734-0013 広島市南区出島1丁目33番61号

TEL (082) 253-6161 FAX (082) 254-4581

(支店)松江 (営業所)三次



山陽工業株式会社

SANYO CONSTRUCTION CO. LTD.

広島市中区十日市町1丁目1-9 〒730-0805

TEL (082) 232-6471 FAX (082) 291-2233

http://www.landingsanyo.co.jp/



総合建設コンサルタント

株式会社 ヒロココ

代表取締役社長

下花 眞二

本社 〒734-0011
広島市南区宇品海岸三丁目13番28号
TEL (082) 250-8515 (代表)

なので毎日が勉強の連続です。

この現場に来て事前の準備や段取り、コミュニケーションの大切さが身にしみて分かりました。現場に出ていると作業員から“この寸法を教えて”など尋ねられることがあり、それに答えられず現場で困ってしまうことが多々あります。まずは、その日の作業手順のことだけでも事前に調べて準備イメージしておくことで、自分の考えを作業員に分かりやすく伝えることもでき、スムーズに作業を進めることができるのでしっかり準備するように肝に銘じている次第です。

上司や先輩方は、丁寧に仕事のことを教えて下さいますが、任された仕事がうまくいくことはなく、指摘を受けることの方が多く、自分の低レベルな間違いに落ち込むこともあります。書類など自分では出来たと思っても、やり方の手順が間違っていたり、形式や、見た目など細かいところまで、気を抜くことはできません。

そんな失敗ばかりの毎日ですが、どんなに小さいことでもできた時の達成感は大きく、現場の構築物が完成に近づいていくところを間近で見て感じるができるのは、とてもうれしいことです。

いよいよ今年は、2級土木施工管理技士の実務経験1年を取得できましたので、受験できます。現場で1つでも多くのことを学びながら合格したいと考えています。そして、3年後には1級土木施工管理技士の資格も取得し、現場の所長を任されるようになりたいと思っております。

大学を卒業してからは、あっという間に1年が過ぎてしまいそうです。1日でも早く現場で役に立てるように、施工技術の会得を積み重ねていく所存です。

最後になりましたが、広土会の繁栄と広土会員の皆様のご健勝とますますのご活躍をお祈り申し上げます。



近況報告

島根支部 (28期生)

上山 全広

全国の広土会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。私は島根県支部で事務局長をしております第28期(平成8年3月卒業)の上山と申します。広工大を卒業し早いもので23年が過ぎようとしています。長女も大学3年生になり、月日が経つのは早いあと、つくづく感じています。

私は大学を卒業して島根県庁に就職した後、県庁の出先機関である土木事務所や水産事務所などに勤務し、現在は県庁の漁港漁場整備課という部署に勤務しています。

15年程前に同じ部署で勤務していたときは新しいものを造ることをメインとして仕事をしていましたが、現在は保全計画を作成して既存施設の長寿命化を図る事業が大半を占めるようになっており、少しさみしい様な気もしますが、県西部にある県内一の水揚げ量を誇る浜田漁港では荷捌き岸壁の耐震化や高度衛生管理型漁港として新しい荷捌き所を建設するなどの大きな事業も行っており、既存施設のメンテナンスやインフラ整備の推進に貢献できるよう日々働いています。

さて、島根県支部では年1回、支部総会と懇親会を開催しています。例年20名程度の方に参加していただいております。他県に転勤された方にも参加していただくなど、賑やかな会となっています。

昨年12月21日に開催した同会には、広土会から福原先生に参加していただき、大学の近況や後輩たちの活躍を聞くことが出来、大変励みになりました。

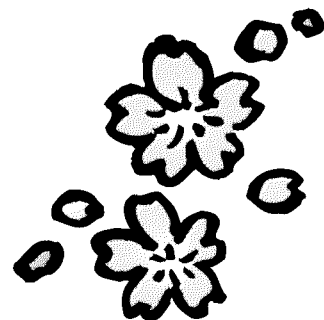
今後もより多くの方と情報交換できるよう、メールなどにより積極的に参加を呼びかけたいと思います。

私事とはなりますが、島根県では一昨年から国宝松江城マラソンというフルマラソンが開催されています。私も第1回から参加しており、昨年は3時間33分で完走することが出来ました。“50歳までにサブスリー”を目標に、仕事はもちろんですが、趣味でも充実した日々を送れるよう励んでいます。

最後になりますが、米子道、浜田道を利用されますと山陰側からでも島根へは短時間で来ることが出来ます。県内においても山陰道の整備が進んでおり、東西のアクセスも一昔に比べ、断然改善されています。会員の皆様におかれましては、機会がありましたら、是非島根に観光に来ていただけたらと思います。



2019.12.21 島根県支部総会にて



事務局だより

広土会の活動は会員の会費納入で運営されています。同封の広土会会費の納入と連絡先確認のお願い用紙の会費納入欄の右欄の○年3月の○が空白、会費未納あるいは期限切れの方はこの点を御理解いただき、会費の納入をお願い致します。終身年3月の方は会費の納入の必要はありません。

また、17期生の方は会費5,000円納入で終身に移行できますので納入の方よろしくをお願いいたします。

広土会のホームページのアドレスは下記のとおりです。広土会50周年記念事業等を閲覧するには、パスワードが必要となっております。パスワードは下記のとおりです。入力間違いのないようお願いいたします。

広土会新聞は会員の情報誌です。今年度は、2期生ー50周年、12期生ー40周年、22期生ー30周年、32期生ー10周年、42期生ー10周年を迎えます。記念祝賀会等を行われる場合には事務局にご連絡をいただければご協力いたします。

皆様からの情報、ご意見、ご感想をお待ちしております。FAX、またはメールでご連絡下さい。広土会新聞に投稿記事があれば併せてお願いいたします。

*事務局には専属の事務員がいません。恐れ入りますがご連絡等はFAXかメールにてお願いいたします。

HPアドレス：<http://www.kodokai1968.jp/>

パスワード：kodokai2014

FAX (082) 921-8976 E-mail: kodokai@cc.it-hiroshima.ac.jp

心の映像カタチにします
建設クリエイター

総合建設業



株式会社

栗本

代表取締役社長 前川 拓也
〒733-0035
広島市西区南観音7丁目14番20号
TEL (082) 293-8500
FAX (082) 295-8231
【営業所】 岩国

<http://www.kurimoto-gr.co.jp>

総合建設業



占部建設工業株式会社

おかげさまで100周年

100th
SINCE 1920

代表取締役 占部 誠

本社 〒720-0816 福山市地吹町18番16号
TEL(084)922-1254 FAX(084)922-1276
広島支店 〒738-0004 廿日市市桜尾二丁目8番3号
TEL(0829)32-1224 FAX(0829)32-8779
井原営業所 〒715-0022 井原市下出部町二丁目22番4号
TEL(0866)67-1300 FAX(0866)67-1215
広島営業所 〒731-5135 広島市佐伯区海老園4-4-44
TEL(082)921-2617 FAX(082)921-5443



株式会社 神崎組

代表取締役社長 神崎 文吾

本社 姫路市北条口三丁目22番地
TEL 姫路(079)223-2021(代表)
FAX 姫路(079)281-8191
支店 大阪
事業所 敦賀・三木・岩国